

産業建設委員会記録

令和5年3月8日(水)
9時59分～13時05分
全員協議会室

- 【委員】川上委員長、田畑副委員長
沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員
- 【委員外】三浦議員、村武議員、西田議員
- 【議長団】笹田儀長
- 【執行部】砂川副市長
(産業経済部) 佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、大谷産業振興課長、
大驛観光交流課長
(都市建設部) 戸津川都市建設部長、佐古建築住宅課長、皆尾災害復興室長
(金城支所) 邊金城支所長、河内産業建設課長
(旭支所) 西川旭支所長、新開産業建設課長
(弥栄支所) 馬場弥栄支所長、三浦産業建設課長
- 【参考人】木戸ゆうひパーク浜田株式会社代表取締役
- 【事務局】大下書記

議題

- 1 陳情審査
 - (1) 陳情第73号 三桜酒造跡地の買い取りへの反対を求める陳情について **【賛成なし 不採択】**
 - (2) 陳情第75号 企業誘致について **【賛成多数 採択】**
- 2 議案第4号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について **【全会一致 可決】**
- 3 議案第9号 財産の取得について(道の駅ゆうひパーク浜田) **【全会一致 可決】
(附帯意見あり)**
- 4 所管事務調査
 - (1) 美又温泉と旭温泉の状況について **【観光交流課・金城支所、旭支所産業建設課】**
 - (2) 「道の駅」ゆうひパーク浜田の今後について **【商工労働課】**
- 5 執行部報告事項
 - (1) 地域おこし協力隊の委嘱について **【商工労働課】**
 - (2) プレミアム付「はまだ応援チケット(第2弾)」の利用実績について **【商工労働課】**
 - (3) 令和3年7月・8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について **【災害復興室】**
 - (4) 「温泉総選挙2022」について **【金城支所、旭支所産業建設課】**
 - (5) ふるさと体験村モニターツアーの実施について **【弥栄支所産業建設課】**
 - (6) その他
 - ・漁業別水揚げについて **【水産振興課】**
 - ・浜田漁港水揚げ資料 2022年報 **【水産振興課】**
- 6 その他

- 7 はまだ議会だより読者アンケートへの対応について（委員間で協議）
- 8 地域井戸端会のテーマ設定について（委員間で協議）
- 9 【取組課題】浜田市の現状と将来を見据えた一次産業の在り方について（委員間で協議）

【議事の経過】

[9時 59分 開議]

川上委員長

出席委員は7名で定足数に達しているので、ただいまから産業建設委員会を開催する。レジュメに沿って進める。

1. 陳情審査

(1) 陳情第73号

三桜酒造跡地の買い取りへの反対を求める陳情について

川上委員長

審査の参考のため執行部に確認しておきたいことがあるか。
(「なし」という声あり)

(2) 陳情第75号

企業誘致について

川上委員長

審査の参考のため執行部に確認しておきたいことがあるか。
(「なし」という声あり)

それではこれから陳情2件の採決を行うが、採決前に自由討議を行う案件があるか。

(「なし」という声あり)

では採決に入る。まず賛否を述べ、理由を述べてほしい。

○陳情第73号 三桜酒造跡地の買い取りへの反対を求める陳情について

川上委員長

上野委員から順番に。

上野委員

市民への説明や議会内の議論が不十分なので継続としたい。

串崎委員

駅前のにぎわい創出と検討委員会を立ち上げるとの回答があった。神楽資料館という話もあったが、完全に把握できてないこともあるので継続でお願いします。

沖田委員

反対である。賛否を諮るのは予算審査であり本会議であると思っているので、この陳情はなじまないため反対である。

牛尾委員

この件については沿線の多くの方から意見を伺っている。ぜひ浜田市がアンダーコントロールしてほしいと。意外だったのは浜田高校や一中のOBから、駅前から文化ゾーンへつながる道は貴重な歴史の道だと。ぜひ浜田市がコントロールしてJT跡地のようにふさわしいものをつくってほしい。民間の乱開発だけは避けてほしいとも言っている。

一方、この陳情に出たようなことを言われる方もいるが、私の関係では圧倒的に市がコントロールしてほしいという結果が出ているので反対する。

布施委員

私もこの陳情については反対である。私も今年に新聞報道があってから市民にいろいろ聞かれた。三桜酒造跡地は商業ゾーンと文化ゾーンの境目で非常に難しいが、有効活用するためには検討委員会を立ち上げる。浜田市のための先行投資だと思っている。土地開発公社がアンダーコントロールすることに賛成

田畑副委員長

であるため、この陳情には反対する。

反対する。検討委員会で検討していく方向性を出されたので、この陳情については反対したい。

川上委員長

本来なら継続という意見が出たときに継続について諮ればよかったのだが、ここでお諮りする。継続とすべきかどうか、賛成の方は挙手をお願いします。

《 賛成者挙手 》

挙手少数のため継続とせず、採決を行う。この陳情を採択することに賛成の方の挙手を求める。

《 賛成者挙手 》

挙手少数のため、この陳情は不採択となった。

川上委員長

○陳情第75号 企業誘致について

継続を希望する方は挙手をお願いします。

《 希望者挙手 》

挙手なしのため採決を行う。賛成の方の挙手をお願いします。

《 賛成者挙手 》

賛成多数のため、この陳情については採択となった。当陳情に反対の方の意見を伺っておく。

牛尾委員

書いてあることはなるほどと思う部分もあるが、企業誘致には必ず光と影がある。過疎地に製造業の誘致は難しいという声がある。若い人が帰ってきて従事したくなるような企業誘致をしないと人口減少に歯止めはかからないのではという観点から、文面に理解する点もあるにはあるが、大きい意味でいうとやはり企業誘致はすべきと思っているので反対である。

布施委員

牛尾委員が言われることもわかるが、光と影を十分調査してやるべきだというこの陳情には一理あるということで賛成する。

上野委員

介護現場の人手不足は大変な問題である。今後いろいろな企業が来て人手が取られたら大変なものであるため、この陳情には賛成である。

串崎委員

賛成である。これの趣旨自体が「調査検討してほしい」という内容である。人口減少に伴い、確かに誘致しても人材不足も考えられる。書いてあるとおりだと思うので賛成する。

沖田委員

賛成である。企業誘致となると浜田市内の労働力や経済効果等々を十分加味して誘致するべきだと思うし、恐らくそれはどの自治体も同じだと思う。趣旨は至極当然のことと思うので賛成した。

田畑副委員長

賛成する。U I ターンしようと思ってもなかなか浜田市内には雇用の場がないのが一番の弱点だと思っている。誘致企業については調査検討してほしいという陳情には心から賛成したい。

2. 議案第4号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

川上委員長

執行部から補足説明があるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

3. 議案第9号 財産の取得について(道の駅ゆうひパーク浜田)

川上委員長

これは議題4所管事務調査の2でゆうひパーク浜田の代表者にこの場にお越しいただき話を聞く予定にしている。その話を伺ってから質疑を行いたいと考えるがいかがだろうか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのようにする。また代表者の方の都合上、12時10分以降でないとは来られないため、到着されるまでは他の議題を進行させていただくことをご理解願う。関連する執行部もそのように対応いただくようお願いする。

4. 所管事務調査

(1) 美又温泉と旭温泉の状況について

川上委員長

執行部から補足説明があるか。

(以下、資料をもとに説明)

観光交流課長

(以下、資料をもとに説明)

金城産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

旭産業建設課長

川上委員長

委員から質疑はあるか。

布施委員

金城観光ホテルとホテル川隅は市が関与していないとのこと。しかし、観光振興において食と温泉と石見神楽があって初めて滞在型の浜田の魅力が通じるのだと言われている。取得した時点で相手の意向も聞きつつ、浜田市として温泉に関する将来的な取組を協議するべきだと思っているが、いまだにやってないのか。

観光交流課長

関与してないというのはあくまでも譲渡に関しての話で、その後第一ビルや各支所とも協議している。

布施委員

従業員は引き続き雇用されるのか、条件はどうか。

金城産業建設課長

金城観光ホテルは譲渡後に協議の場を設けてお伺いしたところ、従業員は全員再雇用されたとのこと。譲渡の前後で名称も変わらず従業員の顔ぶれも一切変更なかったため、引き続き雇用されたと認識している。

旭産業建設課長

ホテル川隅については、第一ビルは風の国の運営なども手がけている。そちらへの雇用を希望される方はそのようにしたと聞いている。全員について把握はしていない。

布施委員

従業員へのフォローは十分してほしい。施設の名称の変更予定はないのか。

金城産業建設課長

金城観光ホテルの屋号はそのまま聞いている。今後大規模改修を予定されており、もしかしたらその際に名称を変えられ

- 旭産業建設課長
るかもしれないが、現在は金城観光ホテルとしてずっと運営を続けておられる。
- 旭産業建設課長
ホテル川隅について、第一ホテルマネジメントの担当者とも話をしているが、再開については未定なので引き続き情報を得るよう努力したい。
- 布施委員
一番大事なものはソフト面である。顧客の取り合いになったら後がなかなかできないという状況を結構聞く。そういう点に踏み込んだ話し合いはしているか。
- 金城産業建設課長
美又温泉は2年くらい前から、組合の中で後継者がいる旅館・いない旅館といった話し合いを自らされており、場合によっては新たな資本を迎え入れて宿の名前を残したほうがよいのではとか、こういう議論を重ねた中、金城観光ホテルはこういう形になった。
- 旭産業建設課長
加えて金城観光ホテルについては今後の経営構想を持っておられる。第一ホテルマネジメントはその構想を見て取得されたと聞いている。資本力を使ってそれをいよいよ実行する。その後押しをしていただける。市もその計画づくりには若干関与していたので、引き続き支援していきたい。
- 旭産業建設課長
旭温泉は旅館温泉組合に市も商工会も入って定例会議をしているが、地域の声を十分聞くところまでは至ってない部分もあると思う。しっかり話し合って取り組んでいきたい。
- 布施委員
心配なのは旭温泉。なぜならコロナ禍で日帰り温泉がなくなり宿泊のみ対応になった。しろつの荘は外湯もあるがキャパが狭い。全体的なイメージが暗くなったようで寂しくてならない。しかし策がない。温泉総選挙などいろいろな表彰を受けているならそれを生かしつつ新しい取組をしないと、温泉のみのリニューアルなら一気に客が増えることはない。支所全体が本気でやらないと。将来的な展望を伺いたい。
- 旭産業建設課長
昨今ナシの収穫が少なく、神楽もできない。これまでであったにぎわいも非常に寂しい状態である。3月18日はさっそく神楽がある。今あるものはしっかり活用しつつ、新しいものを生み出すように一生懸命考えて取り組みたい。
- 牛尾委員
新聞で見たときに金城についてはM&Aだと思った。非常によいと思う。なぜなら浜田市が星野リゾートに断られた際に悔しかったから。第一ビルサービスも湯質を生かしたいとのことで、ありがたい話である。市は支援をする必要があると思う。
- 牛尾委員
旭については、僕のような素人でも人口減少の中で温泉のキャパを考えたときに、今閉まっているところをすぐ開けるというような経営者はあまりいない。このエリア内でそのくらいの施設供給が妥当なのかを計算して開くか開かないかになる。それはよしあしを別にして仕方ない。あさひ荘はSNSなども使って頑張っているの、市の大事な施設として支援していかな

川上委員長

ばならない。民間が入ることでもっと元気になるところはきちんとフォローしてあげる。そうでないところは、そこで飯を食っている人間がなかなか再開できないとの見解を示したのにはそれなりのリサーチがあったと思う。私はその判断を妥当だろうと思う。旭と金城にはそれぞれ違う性格があるし、集客メニューも違うと思う。市は後方支援というスタンスでいくのがよいのでは。

ほかに。

(「なし」という声あり)

5. 執行部報告事項

(1) 地域おこし協力隊の委嘱について

川上委員長

執行部から何か補足説明があるか。

(「なし」という声あり)

布施委員

委員から質疑はあるか。

この方は起業したいのか、雇われでも構わないのか。就職する場合は研修受け入れ先がそのまま受ける可能性も視野に入れていたのか。

商工労働課長

行く行くは起業等も考えておられると伺っている。研修先でそのまま働きたいという可能性もなくはないが、今の希望としては起業も考えている。

布施委員

目指す方向性は調査したか。定住に関する話し合いはされたか。

商工労働課長

料理の種類については細かくは決めていないようである。浜田は非常に魚がおいしいといった地域資源にも触れられた。そういったところをうまく生かしつつ、地域活性化も含めて料理で何か起業を目指したいと聞いている。

串崎委員

移住については夫婦2人でこちらに来られた。

商工労働課長

年齢は49歳だが、なぜ浜田市を選んだのか。

もともと岡山で働いているときから料理をやりたいと思っておられた。ご両親が隣町にいて、行く行くは近くで料理の仕事ができないかとも考えていた。そのような中、浜田市の地域おこし協力隊の募集を見て、自分の思いに当てはまるのではと考えて応募されたと聞いている。

牛尾委員

以前、研修目的で入られて、ゆうひパーク浜田からゆうひパーク三隅へ移られた女性がいたが、起業されたのか。

産業経済部長

今どこにおられるか把握していない。

牛尾委員

邑南町はもうA級グルメはやめると言われた。外から引っ張ってきた人より、地元民の起業が多いため町民の民意を得てない事業だということで断念された。よかった面もあるが、地元民をもっと大事にしてほしかったという声があるらしい。浜田市もそういう事例を検証する必要がある。例えばこの事業、地

- 域おこし協力隊という制度があるからとりあえず引っ張ってきてどこかに入れて修行して、独立してくればよいといった安易な考えで呼ばれたのなら、将来危ういのではと今までを見ていて思う。外から見れば華々しいが、中身を見ると地域のためになってない事例が邑南町にもごろごろある。かつて金城の地域おこし協力隊が邑南町のほうが給料がよいからと邑南町へ移った。いつの間にかいなくなっている。そういう現状もある。この制度が悪いとは言わないが、きちんとした心構えを持って本当にここに定着してもらえるような方を。期待し過ぎて結果が出ない状況が続いているので。市役所内にはそういう心配の声はないのか。
- 商工労働課長 協力隊については他市の事例等も把握している。協力隊を多く入れると自治体職員の目がなかなか行き届かず放置気味にされていたといった失敗事例も聞いている。そういったことにならないよう、1、2人が限界かと思っている。
- 牛尾委員 令和5年は一旦地域おこし協力隊の募集をやめて、方法を検証して次につなげたい。
- 商工労働課長 田畑副委員長 この制度は、事業承継は向いていると思う。市内でも後継者がいない企業がある。事業承継ができれば順調にいけそうだと見込めるなら事業承継してほしい。ただ来ていろいろ教わって起業するのはなかなかハードルが高いのだろう。彼の面倒は誰が見るのか。
- 商工労働課長 商工労働課の職員である。決まっている。
- 田畑副委員長 私が知る限りでは、ゆうひパーク三隅に女性がおられて、私はもう半年しかここにいられないのだと、また次の協力隊について転々とされている。一生懸命やりたいのだが雇用におびえて仕事されていると思われるような状況である。雇用のフォローアップをしてあげないと、お金を使って嫌われて悪口を言って転出されるような無駄な状況である。幾らよい人が来ても続かない。考え方とすれば、定住いただくにはフォローできることを考えてやってあげないと定住にならない。金を使っただけで何も残らないと思われる。
- 商工労働課長 おっしゃるように、来られた方が研究先に入られる、あるいは起業されるまではフォロー等も考えて今は対応している。その中でも特に心配があることは3年の間にしっかり話をして進めていきたい。
- 川上委員長 ここで暫時休憩する。

[10時 49分 休憩]

[11時 00分 再開]

- 川上委員長 再開する。先ほどの件で何かあるか。

商工労働課長

ゆうひパーク三隅の地域おこし協力隊の方について。わかっている範囲だが、ゆうひパーク三隅を出られた後に市内企業に就職された。その後の様子はわからない。

(2) プレミアム付「はまだ応援チケット（第2弾）」の利用実績について

川上委員長

執行部から何か補足説明があるか。

商工労働課長

(以下、資料をもとに説明)

川上委員長

委員から質疑はあるか。

沖田委員

利用実績の数字をつかむのも当然大事だが、第2弾の状況を踏まえて第3弾を計画する中、電子通貨を使うことも含めて検討されたか。

商工労働課長

第3弾を検討する際にはコスト面も含めて検討はした。ただ、電子を入れるには地元事業者もだが市としても、電子をどう導入すべきか、計画は定めているが市全体でどうするかがまとまってないので、まずはその方針を固めてから入れるべきだと思う。第3弾は全く同じ形でさせてもらおうと思う。

沖田委員

ただ、産業経済部自体も電子通貨の導入は必要とのことで国とも連携して研修会など開いたり先進地視察したりしている。将来的に導入する方向で考えたい。

商工労働課長

マイナポイントの加入率が上がって、電子決済の普及率も上がっていくと思っている。市の施策と紐づけて、例えば地元チケットだけでも電子決済を導入するなど一ひねりあってもよかった。担当課にもしっかり検討してほしい。

牛尾委員

おっしゃるように電子決済を利用している方もいれば、現金決済の店を選んでいるという方もいる。今は事業者へアンケート調査中でもある。その辺の結果等を見ながら。国も進めようとしているし、避けて通れない時代になってきたと思う。検討したい。

産業経済部長

地元業界の評価は高い。今高騰していると言われているガス代などにもこの商品券で払えるなら、生活への圧迫感を払拭できるのでは。ガス会社は地元で2社ある。選択の一つとして、もし可能であれば。対応できそうか。

布施委員

電気やガス代が高騰していることは認識しているが、商品券が使えるかどうかは今把握していないので研究したい。

プレミアム商品券で地域活性化して、次につなげるのは地域通貨、電子コイン。これにつながらないと、その時々で手当てしても駄目である。

飛騨高山には「さるぼぼコイン」という電子通貨がある。これは市内のあらゆる事業で30%から40%の利用率がある。地元銀行と信用組合とタイアップして、地域活性化のために電子通貨を苦勞して整備した。今は誰でも使える地域通貨になっている。このように次へつなげないと意味がない。プレミアムはな

産業経済部長

くても次の施策につながる。これが行政の考えるところでは、研究されているか。

自治体DX、産業経済部についても先般勉強会を行った。浜田市の正式な取組はまだ出てないが進めていくのは間違いない。コロナ対策第4弾としてはないかもしれないが、事業者支援などについては状況を見ながら検討する。その際に電子通貨も含めて検討したい。

布施委員

電子通貨の導入は恒久的なものになる。例えば水産業での活用だと、自分が釣った魚を直接店におろして市限定電子通貨に換えてもらうという方法がある。もちろん農業にも使える可能性が出てくる。それらを連携させるのが大きな取組だと思う。個々に強いものがあったとしても連携しない。連携させる接着剤の役目を市の施策が果たし、つなげていくことが大事である。

副市長

第3弾を検討するに当たっても電子通貨は検討した。ただ、期間的な事情もある。これは令和4年度の繰り越し予算のため、あまり時間を置きたくないということで6月にした。システム変更には結構時間がかかるし、先ほど来あったようにこの第3弾のためというのではなく、将来的に地域の電子通貨として使えるようにしなければならない。また地元の受け皿になる金融機関や商工団体に全面的に協力してもらわないとできない。商工会議所が紙の共通商品券を出しているが、このようなものも変えていただく。それは市だけではなかなかできないので、商工会・商工会議所、地元信用金庫等と協議してお互いに共通認識を持って進める。そういう方向で進むのは間違いないが、いつできるかは関係者と協議しながら決めたい。

川上委員長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(3) 令和3年7月・8月豪雨災害復旧事業の進捗状況について

川上委員長

執行部から何か補足説明があるか。

(以下、資料をもとに説明)

災害復興室長

川上委員長

委員から質疑はあるか。

串崎委員

弥栄の復旧率が、ほかの地域より低いのはなぜか。

災害復興室長

災害件数が多い上に業者が少ないため、どうしても事業の繰り越しが多く、中でも弥栄が多かった。大変申しわけない。

川上委員長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(4) 「温泉総選挙2022」について

川上委員長

執行部から何か補足説明があるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(5) ふるさと体験村モニターツアーの実施について

川上委員長
 弥栄産業建設課長
 川上委員長
 沖田委員
 弥栄産業建設課長

執行部から何か補足説明があるか。
 (以下、資料をもとに説明)

布施委員

委員から質疑はあるか。
 ツアーの行程に、15時からラジオ体操とあるが、なぜか。
 旧弥栄村の時代から、15時になると防災行政無線でラジオ体操が流れる。これを弥栄の特色として取り入れられた。

弥栄産業建設課長

モニター希望者に制限をかけたのか、たまたま24名集まったのか。男女比も年齢もわからない。浜田は方言によるラジオ体操で全国表彰されたのはご存じだろう。同じやるならそういうものを加えることもできたと思う。モニターをやったなら感想だけ聞くのではなく、どういった年齢層の人がどういう感想を持ったのか、報告に添えるべきだと思うが。

布施委員

モニターの細かい分析は地元でされている。モニターの構成としては施設の古民家とログハウスは物が違い、売り出し方も違うだろうということで、特にログハウスはファミリー向けとして浜田地域内のファミリー5組にモニターしてもらった。体験メニューも併せてやった。

古民家は宿泊者専用の神楽公演などで高額になるので、専門家にモニターをしてもらい、ご意見をいただいた。専門的な意見ももらっているので、今後に生かしたい。

弥栄産業建設課長

モニターを通じて、よい評価はよいが、指摘を受けた部分の改善などをやっていかねばならない。自然体験をしてもらうなら四季折々のものが必要と思うが、ない気がする。モニター経験者からの口コミやSNSによる拡散がなければならない。わくわくする事業をしないとリピーターにはならない。指摘部分の改善にとどまらず新しい視点で取り組むことを期待している。

ご指摘のところを地元も十分承知されている。今回は時期的に冬で季節的な取組ができなかった。本来なら四季ごとに体験メニューを変え、地元の方がどういう思いを持ってかかわっているかを発信することで、より魅力のあるものにしようと考えている。モニターツアーを何度か重ねる中でさらによいものにしていきたい。

牛尾委員

先般、有機農業の勉強会の案内をいただいた。もう少し早くご案内いただくと予定が立てられて参加できたのに残念だった。オープン以降の予約状況はどうなっているか。

弥栄産業建設課長

ホームページは3月から立ち上げて、再開されている。予約については4月1日から受けるよう準備されている。既に問い合わせは何件か来ており、ゴールデンウィーク中に宿泊を希望されている。

田畑副委員長	進行を交代する。
川上委員長	地域外モニターは専門家等を含むとあるが、ジェイアール東日本企画関係者は何人いたか。
弥栄産業建設課長	ジェイアール東日本企画の方は6名来ておられる。事務方の方も含めてなので、専門家としては4名である。
川上委員長	関係者ではなく関係外の方をメインに、今後実施する際はそういう形にしてほしい。
田畑副委員長	進行を交代する。

(6) その他

- ・ 漁業別水揚げについて
- ・ 浜田漁港水揚げ資料 2022年報

川上委員長	2件は資料配布のみとしているので確認してほしい。ほかに何かあるか。 <p style="text-align: center;">（ 「なし」という声あり ）</p> 執行部報告事項について、3月17日の全員協議会へ提出し説明すべきものを決定するため、まず執行部の意向を確認したい。
商工労働課長 川上委員長	執行部としては、なしで考えている。 執行部の意向のとおりでよろしいか。 <p style="text-align: center;">（ 「異議なし」という声あり ）</p> では、なしということで決定した。

6. その他

川上委員長	執行部から何かあるか。 <p style="text-align: center;">（ 「なし」という声あり ）</p> 委員から何かあるか。 <p style="text-align: center;">（ 「なし」という声あり ）</p> では執行部は退席されて構わない。この後ゆうひパーク浜田の代表者が来られてお話を聞く。所管する職員は出席をお願いする。
-------	---

7. はまだ議会だより読者アンケートへの対応について（委員間で協議）

川上委員長	対応協議について議会広報広聴委員長から依頼があった。提出期限が3月13日となっている。本日ここで協議し回答を決定したい。
布施委員	まず1件目について意見はあるか。 第一ビルサービスが取得して指摘された部分に着手する期待感がある。ここに書かれた内容は事実だと思う。産業建設委員会として、執行部はこのような運びになっているということと、うる肌部門に選ばれたのを知らないというのは広報のあり方を含めもう少し市民に訴えなければいけないと指摘すべき。
牛尾委員	民間企業が買い取ってリニューアルされるようなのでご期待

川上委員長
牛尾委員

の上お待ちください、でよい。

そのようにする。次の件はどうか。

おっしゃるとおりで、例えばJAでも益田と浜田では10円違う。益田に聞けば、ほかより安くて叱られるがお客のために歯を食いしばって頑張っていると言われる。同じJAでなぜ値段が違うのか私も教えてほしいくらい。

これも国からの助成金が入っている。だから多分、商品券を使うのは難しい。

川上委員長

地域間格差は民間の考え方だと思うが、やはり調査して対応できる部分があれば。

牛尾委員

調査をしてみるのか。

川上委員長

調査することにしようか。ではこの地域間格差については調査しているという回答でよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では、以上で読者アンケートへの回答は確定した。

8. 地域井戸端会のテーマ設定について (委員間で協議)

川上委員長

議会広報広聴委員会において5月13日から6月4日にかけて、地域に出向いて井戸端会を開催し、地域住民の意見をお聞きすることが決定している。議会広報広聴委員会フォルダに資料が入っているので見ておいてほしい。3人1組で、1班4会場。

当委員会ではずっと一次産業について調べている。せっかくなので問題点を少し確認したいと思うのだがいかがか。

布施委員

班は決定しているが日程は決まってないのか。

川上委員長

班の中で色がついている人がいる。その人を中心として、行き先である施設と日程について協議してもらいたい。それを報告してほしい。十分検討してやってほしい。

後日の全員協議会で議会広報広聴委員長が改めて皆に説明するはずである。当委員会としては一次産業の三つ、漁業、農業、林業について問題点と今後に向けての希望や要望を話していただく形にしたい。よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

9. 【取組課題】浜田市の現状と将来を見据えた一次産業の在り方について

川上委員長

2月24日の委員会でも話が出たが、現在取り組んでいる一次産業の問題、農業・漁業・林業については6月定例会議において委員会代表質問を行い、提案にかえたいと申し上げた。その後、所管事務調査で観光についてもやっている。今後、観光と商業についての調査をし、9月の定例会議に委員会代表質問としたいと思っているがいかがか。

(「異議なし」という声あり)

9月は観光・商業。6月は農業・林業・漁業でやりたい。もち

ろんこのことは、代表質問だけでなく、こういう質問をしたと報告しなければならない。よろしく願います。今後どなたにさせていただくかは都度皆で協議したい。

ほかになければこの議題を終了する。最後になるが陳情の表決結果についてはタブレットに本日中に記入してほしい。最終的には議案の採決についても同じである。

ここで暫時休憩する。

[11時 45分 休憩]

[12時 10分 再開]

3. 議案第9号 財産の取得について（道の駅ゆうひパーク浜田）

4. 所管事務調査 (2) 「道の駅」ゆうひパーク浜田の今後について

川上委員長

ただいまゆうひパーク浜田の代表者が来られたので、議題4所管事務調査(2)について行う。本議題については3月1日の産業建設委員会で決定したとおり、参考人としてゆうひパーク浜田株式会社社長に出席をお願いし、お越しいただいている。よろしく願います。

本日はお忙しい中、当委員会の意見聴取においでいただき感謝する。私ども委員会においては道の駅ゆうひパーク浜田の経営状況に以前より関心を持ち、委員会所管事務調査等において営業状況の把握を行っていた。これまでの営業状況が思わしくないことは理解していたが、昨年積み重なる営業不振や新型コロナウイルス感染症により入込客減少等により、道の駅の経営状況が厳しいことから、道の駅運営継続のためにも公設民営化への移行要望を提出されている。

その後、市においては道の駅ゆうひパーク浜田を継続するための方策を検討されたところ、国が示した要綱による、市が取得し指定管理者制度により運営するか、民間事業者に貸与するか、二つの方法しかないということで取得する考えに至り、昨年12月定例会議において取得予算が上程され、議決し、現在は施設所有者である御社と中国建設弘済会との売買契約を結ぶべく準備が進んでいると報告を受けている。

このような中、私ども産業建設委員会では市執行部への説明を受けるとともに、他県の道の駅の現状を視察し、ゆうひパーク浜田のこれまでや現状、これからの運営に必要な事項等を委員会代表質問で取り上げ、執行部の答弁を受けるなどして、施設取得の是非を模索している。

本日は社長においでいただき、これまでの運営状況と、これからの運営方針等についてお考えを伺い、ゆうひパーク浜田に関して当委員会に付託された議案審査の参考とさせていただく。忌憚のないところを話してほしい。

参考人（木戸氏）

まずは現在に至る状況から説明いただき、その後委員からの質問にお答え願う。

ここで各委員にお願いする。本日は民間事業者に参考人としておいでいただいたので、発言等にはくれぐれもご注意願う。また発言は挙手の上、委員長指名後にしてほしい。

本日はこのようなこのような席に参加させていただき感謝する。精いっぱい説明する。

まずこれまでの議会等での疑問、懸念事項があると思い、準備してきた。一つは代表取締役の変更の件。もう一つは損益計画いわゆる事業計画について2点説明したい。

私自身が代表取締役に就任したときから、交代を求められれば潔く退任することを決めている。今回も一定の経営責任を感じており、代表取締役交代を求められていることは理解している。内部人材からの登用ということでいろいろと説得なり交渉なりしてきたが、数年後の公募やあるいは社内の混乱を理由に、調整がつかない状況である。

一方の外部人材については、優秀な人材を雇用するほど財政面の余裕はないので、またこれも数年後の公募を理由に人材が出てこない状況にある。

当然、私が退社することも検討している。しかしながら、借入れの保証債務という問題があり、最低でも取締役として留任することを金融機関から求められている。これは単純に、補償免除はできないということである。新たな代表取締役がかわりに負うことが可能であれば、私自身は退く覚悟であるが、そのような人が出てくるとは現状思えないと感じている。

以上、取れる手段が限りなく少ない中で、批判も承知だが私自身が引き続き経営に当たることも容認いただきたい。

ここまで説明した課題を解消できる妙案を市や議会にいただける場合は、前向きに検討する。

二つ目の損益計画について。本日持参した資料を見てほしい。

（以下、資料をもとに説明）

川上委員長
布施委員

参考人から説明があった。委員から聞きたいことはあるか。

ふだんからゆうひパーク浜田を利用させてもらっている。代表はしっかりやっていただきたい。ただしアクションプラン、今までの休憩・情報・地域との連携は大事なのでトライアンドエラーでさらに深めていきたいと。試行錯誤でやってきた中での反省点もいろいろあると思う。今言われたことは、今まで大なり小なりやってこられたものの、できなかった。道の駅として勝ち組負け組ができています。今までのアクションプランに何が一番足らなかったと思うか。

参考人（木戸氏）
布施委員

最終的に私がやり遂げなかったことだと思う。

やりたかったけどできなかったのか。

参考人（木戸氏）
布施委員

個別の事案はあるが、相対に言えばそうと受けとめている。

再建策をいろいろと言われた。道の駅の滞在時間を長くする、興味ある人に集まっていたく、それは大事だと思う。もう一つアクションプランの中で、今まで扱ってなかった生鮮食品の常設も考えているとのことだが、これは自社だけの思いではない。当委員会で視察に行った施設にも同じことが言えるが、大事なのは連携である。納品業者を大事にされ、定期的に情報交換をして、人の意見を聞いて経営に生かし、相乗効果が生まれる。わかっているつもりでもなかなかできない。これをやったところは勝ち組になっている。

イベントだけでなく市民が利用しやすいもの。浜田市のゲートウェイであるが、市民が利用しやすい道の駅に変わってほしい。そのためにはいろいろな手法がある。立地条件を生かすとか。今まで扱ってない業者としっかり連携することが第一歩だと思う。私なりの案もいっぱいある。社長の意見だけでなく皆の意見を吸い上げる部門をつくり、自浄能力で再建してほしい。

参考人（木戸氏）
布施委員

おっしゃるとおりである。いろいろな意見の中からどれを実現するかはトライアンドエラーで積極的にやっていく。布施委員の言われたことを肝に銘じてやっていきたい。

ゆうひパーク浜田は風光明媚なところにあるので、ぜひ優位性を生かして。また、オリジナル商品、オリジナルメニュー、オリジナルなイベントを考える。いきなり100人呼ぼうとすると無理がある。しかしオリジナルをつくることによって、ファンづくり、リピーターづくりになる。浜田に行ったらゆうひパークに寄ろう、なぜならこうだから。そういううわさが広まれば再生のきっかけになると思っている。3年で実績を残して次もできるように頑張してほしい。

田畑副委員長
川上委員長

進行を交代する。

これまで長い間、営業利益が1千万から2千万円ほど赤字だった。本来ならここへ減価償却費が乗ってくるのもっと大きな赤字になるのでは。減価償却費をここへ乗せなかった理由は。

参考人（木戸氏）

法人の場合、法人税法上で償却実施は任意となっている。そのためというわけではないが、マイナスで表現するよりプラスのほうがよいかと。決算書類は金融機関の形式をしているし、金融機関では実際に償却額がどれだけあるか計算され、実態の数字を捉えている。

川上委員長

その点は理解しているが、私どもが決算状況を見るに当たり減価償却費が見えてこない。そうすると本当に500万円や1千万円くらいの赤字で済んでいるようにしか取れない。本当はもっと赤字だったのだろう、純利益はもともと低かったと考える。

令和5年度から、今度は新しい損益計画が出ているが、令和5年度、6年度、7年度と、減価償却費が150万円上がっている。こ

参考人（木戸氏）
川上委員長

の150万円とは何の減価償却費か。

これは備品、機械、機器である。

それはわかる。機械装置、工具・備品にまだまだ償却累計があると思う。これをこれまでの形で償却していこうとすれば、なかなか償却しづらい。だから150万円しか上げてないのか。多分限度額がもともと高いと思うが。

参考人（木戸氏）

おっしゃるとおりで、恐らくもっと限度額の上限は高くなると思う。

川上委員長

機械装置、工具備品については、計画の最後の年に残高はどれくらいになるのか。多分備品は浜田市で買ってない。備品は今の会社のものだと思う。それにどのくらいの価値があるか。

参考人（木戸氏）

いわゆる3年後の簿価の話だろうが、そこまで計算できてない。

川上委員長

簿価ができてないのはおかしい。備品があれば備品の残がかかっているの、幾ら償却したかわかれば簿価はわかる。それがわからないということは、どこまで本気でされているのか理解しがたい。

参考人（木戸氏）

算出はしているが、現在私が把握していない。

川上委員長

資料に書いてある数字は本当か。最後に残った器具などは、誰に所有権があるのか。次に使いたい人にはどのように売却されるのか。

参考人（木戸氏）

3年後に仮に他社が運営することになれば、当社の備品は撤去しないとイケない。そのまま使用したいと言われるかもしれない。そこは現段階ではお答えできにくい。使ってもらえればよいが。

川上委員長

それは今後の動き次第か。

参考人（木戸氏）

はい。当然我々も3年後のプロポーザルに参加して運営をやらせていただきたいと思っている。その辺の準備を含めての対応になると思う。

川上委員長

営業外収益が上がっている。令和5年、6年、7年は500万円である。今年は610万円、その前は約2500万円だった。営業外収益の主なものは何か。

参考人（木戸氏）

まず2500万円の内訳でいうと、1500万円くらいはコロナ関連の助成金である。自動販売機販売委託手数料、ゆうひ公園清掃費用、国交省と電気代を案分しているので国交省からいただくものなどがある。

川上委員長

この中にテナント賃料は入るか。

参考人（木戸氏）

賃料は売上として計上しようと思っている。

川上委員長

営業外収益が2500万円から610万円に落ちるのか。

参考人（木戸氏）

差額のほとんどはコロナ関連の助成金なので。

川上委員長

コロナが起きるまでは営業外収益はずっと1500万円から1700万円くらいあった。コロナ関連で1500万円と言われたが。

参考人（木戸氏）

この計画策定自体が収入は少なめに、経費は多めにという観

- 点で作成している。営業外収益も未確定なところがあるので、確定できる収入を計上している。
- 川上委員長
参考人（木戸氏）
川上委員長
参考人（木戸氏）
川上委員長
参考人（木戸氏）
田畑副委員長
川上委員長
上野委員
牛尾委員
参考人（木戸氏）
牛尾委員
参考人（木戸氏）
- つまりまだ不明なものがたくさんあるということか。
確定部分は計上させてもらっている。過去分には実際に当社がいただいた営業外収益を入れている。
- 償却資産の償却費が150万円というのがどうも納得できない。たくさんあるが新しい計画にはそれしか上げられなかったということか。
- そうなる。
- それだけ上げたら300万円から800万円ほどの利益が出る。その800万円のうち、ここをゼロにしたら償却できる。償却を1千万円にしてプラマイゼロでよいと。少なくともゼロにしたい思いがあればそのほうがよいと私は思うが。要するに償却せずに利益800万円から1千万出るというのは、報告としておかしいと思うが。
- おっしゃることも視野に入れながら計算しようと思う。
進行を交代する。
- ほかにあるか。
- 地域との連携と言われた。今まで会派や委員会であちこちの道の駅を歩いた。あさひ社会復帰促進センターに入っている人との文通で、浜田の温泉はどこがよいか、土産を買うならどこがよいかと聞かれる。ゆうひパーク浜田を紹介した人からよく言われるのが、魚も野菜もなかったということである。せっかく紹介しても満足してもらえない。次のステップではいろいろな地域と連携してほしい。
- ゆうひパーク浜田からすれば、浄化槽入れかえ資金がなく、市に買い取ってもらわざるを得ない状況。自力でできない。買い取ってもらった後も引き続きでもやらせてほしいというのは虫がよすぎると市民からよく言われる。その辺は経営者として、どのような認識をお持ちか。
- 冒頭に申し上げたように私も責任を感じており、本当に申しわけなく思っている。
- 全国で1190幾つある道の駅の中で、ゆうひパーク浜田の人気度は9位。去年6月時点で。ロケーションもよいし人気もある中、その人気売り上げに結びついてないのは、それ以外に根本原因があるのではという気がする。なぜかというと、たまたまSNSで、「全国いろいろな道の駅はあるがここは日本の中で最低だ」という辛辣な意見を見た。そういう評価の中で、本当はこれだけ人気のある浜田になぜ売り上げがつかないのか。売り上げがここまでついてこない肝は何か。
- 牛尾委員が言われたランキングというのも私は存じ上げない。ランキングを出される会社は耳にするが、9位というのは最近聞

牛尾委員

いたことない。

私はこの筋の道の駅の各社長にいろいろなことを伺っている。津和野くらいまでいろいろな様子を聞くが、浜田の道の駅はもっと数字が伸ばせそうなのにおかしいと言われるので、なぜかなという率直な話である。今のままで市が買い上げて浄化槽も税金で直す中で、新たな営業体制を、例えばもっと呼び込むためにつくるとか、追加投資しなければいけないというときに内部留保はほとんどない。どのようにして集客したいのか。社長独自に、新たなお客を呼び込む方法にはコストがかかると思うが、それについてはどのように考えるか。

参考人（木戸氏）

いろいろなことをやるには当然金が要る。実際に当社の銀行取引も返済猶予してもらっている状況であり、新たな融資に応じてもらえない。都合がよいかもわからないが、金をかけない方法も当然やらないといけないし、SNSなどをもっと活用していかないといけない。新たな体制ということで、当社も年齢層が年々高くなってきている。そうは言っても若いスタッフもいるので、若者チームをつくってやらせてみるとか、そういうことも実現してみたい。

牛尾委員

引き続きやっていただくことになるのだろうが、市民の多くから、例えばキッチンカーを入れてほしいとか、あそこでバーベキューしたいとか、いろいろなニーズがある。税金が使われるなら当然市民が要求してくる。しかし会社からすれば会社の方針に合わないというのものもあるだろう。今後、市民の多くが求めているものの実現化については、どのように対応するのか。

参考人（木戸氏）

これもトライアンドエラーだと思っている。やってみて、実際にできることと、できないことがある。その辺の判断、結果含めて、発展するか撤退するかということでは。市民もいろいろな思いがあるだろうし、100人いれば100通りの意見がある。なるべく多くの人に求められるようやっていきたい。

牛尾委員

以前、生鮮市をやるというチラシが入っていた。評判がよかったのでは。市内には産直市がだんだん目減りしてパワーダウンしていて、恒常的に出している生産者は、ゆうひパーク浜田あたりでまとめて扱ってもらえればもっと集客できると考えている方が結構おられる。そういう需要をぜひうまく取り込んでほしい。

不特定多数に来てもらってお金を落としてもらおう、客単価幾らということもあるのだろうが、最近は1人の人に100回来てもらおう。ファンをつくる。地元市民のファンをつくらないとなかなか難しいと全国的に言われている。ぜひ今後、新しい方針に加えて検討いただきたい。

川上委員長

以上で参考人にご意見を伺う時間を終了したい。このように直接話を伺うことができて誠に感謝する。もう少し時間があれ

ばよいのだが、今日は1時間程度と聞いているので、以上で終了したい。
ここで暫時休憩とする。

[12時 57分 休憩]

[13時 01分 再開]

川上委員長

これから採決に入るが、委員間で自由討議が必要と思われる議案があるか。

(「なし」という声あり)

では採決に入る。これより執行部提出の議案2件についての採決を行う。

○議案第4号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について
本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

ご異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

○議案第9号 財産の取得について(道の駅ゆうひパーク浜田)

本案は原案のとおり可決すべきものと決することにご異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

ご異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

以上で産業建設委員会に付託された案件の審査は終了する。委員長報告については正副委員長に一任ということでよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では3月17日の採決までに作成し、タブレットに入れておくので確認してほしい。

最後になるが、陳情についてはタブレットに記入するように。よろしく願います。確認できないときは書記から連絡があるので、よろしく願います。

以上で産業建設委員会を終了する。

[13時 05分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 川上 幾雄

